

第05回

- 講演者：那須弘和氏（東海大学）
 - 題目：3次元単線織多様体上の曲線の変形障害について
 - 日時：平成24年7月20日（金）16：30～17：30

Mumfordは3次元射影空間内の非特異曲線のHilbertスキームが生成的に被約でない(generically non-reduced)既約成分を持つことを示し、この事実をHilbertスキームの病理と名付けた。向井茂氏との共同研究において、Mumfordの例を一般化、もしくは簡易化し、多くの3次元単線織多様体に対し、その上の非特異曲線のHilbertスキームが非被約成分を持つことを示した。本講演では、この結果を紹介するとともに、これらの非被約性(特異点)の原因である曲線の変形障害について、多様体上の別の有理曲線(第1種例外曲線)との関係に焦点をあてて、説明する。



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

55 images

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/seminar/2012/005>

Last update: **2017/11/16 23:37**

